

自働車の歴史！

世界で初めて作られた自動車は（1769年、日本は江戸時代）蒸気自動車でした。
大砲を運ぶための荷車のような形！ 時速も10km以下。

その後電気自動車が発明され、ガソリン車も作られるようになりました。

日本には、1898年（明治31年）初めて自動車が持ち込まれ、

1904年には岡山で「山羽式蒸気自動車」が
国産車として始めて作られました（写真）

乗合自動車（バス）として開発されましたが
タイヤがすぐ外れて実用化ならず。

倉庫入りとなってしまいました…残念！

でも、最初に作られた自動車が個人用では
なく、一般の人の役に立つものというのが
なんか日本人的な感じがするのは私だけで
しょうか。



2040年までにはイギリス・フランスが、ガソリン車とディーゼル車の新規販売を禁止
すると表明されている今、そして自動運転技術推進に拍車がかかっている今、今後どのような
車が生き残っていくのか考えないと、関連する中小企業へ、変革の津波が襲ってくる……
かもしれませんね。

（写真：「GAZOO よくわかる自動車歴史館」より）